



修了生の声

Voice



救急看護認定看護師

救急看護認定看護師教育課程

2018年度研修生

7か月間の教育課程では、授業や実習を通して『「看護の成果」とは、何か』を常に考えることの大切さを学びました。「看護」というものに、今まで以上に真剣に向き合い、その中で「看護」の素晴らしさや難しさをより実感し、現場では得られない貴重な時間を過ごすことができました。

また、教育課程で出会えた研修生や先生方は、今でも交流し合える関係性があり、現場での悩みや取り組みについて相談でき、私にとってかけがえのない存在です。

提供できるよう、「看護の成果」を日々追求し、活動していきます。

現在は、救急看護認定看護師として、様々な臨床の場面における救急看護実践やスタッフ教育、地域における救急看護の普及に尽力しています。

今後も、教育課程での学びを活かし、患者・家族へ、よりよい看護ケアを提供できるよう、「看護の成果」を日々追求し、活動していきます。

